



**Kikuchi Clinic**  
**菊池内科**

内科・消化器内科 (内視鏡・エコー)

完全予約制です 電話072-990-5820

ホームページ  
<http://www.kikuchi-clinic.com/>  
携帯ホームページへは左のQRコードからアクセスできます  
メールマガジン (PC、携帯両対応) 発行中。  
Facebook始めました。



特定健診も予約制です。受診券・健康保険証・介護保険証 (65歳以上の方) をご持参下さい。大腸がん検診 (クーポン使用可) ・肝炎ウイルス検診 (20歳以上) も行っております。胃がんリスク検診 (ABC検診) を開始しました。詳細は8・9月号をご覧ください。

**年末は12/29(土)が最後の診察日です(午前診のみ)。**

**年始は1/4(金)からですが、午前診のみです。**

**1/9(水), 1/25(金)午前診は休診です。**

年末年始の休みの間に、薬がきれないようにご注意ください。  
最新情報は、ホームページとメールマガジンでご案内しています。

重要なお願い **薬の誤処方・誤調剤・紛失について**

何度か書いていますが、依然として、薬に関するトラブルが多発しています。一番多いのは「もらったはずの薬がない・足りない」です。薬局の窓口で、**薬を受け取られましたら、必ずその場で中身を確認して下さい。**薬局を出てから、足りないと言っても、よほどの事がない限り、認めてもらえる可能性は低いです。すなわち「**紛失**」したと見なされます。(幸い?間違った薬を受け取った場合は、証拠品があるので救われます。)  
薬局が、勝手に処方内容(先発品→後発品を含めて)を変更することはありません。何か変わって居れば、間違いではないかと、疑ってみてください。  
薬局で対処してもらえない場合、当院に来られるわけですが、当院でも「紛失」扱いをせざるを得ません。健康保険で診療している限り「**紛失**」に伴う**処方**は、**自費扱いという決まりです。**  
当院で、処方内容を変更した場合は、必ず診察室でその旨申し上げています。できれば、処方せんを受け取られましたら、ご確認をお願いします。当院で処方せんを間違える場合、一番多いのは処方日数の誤りです。「薬を飲み忘れて余っているから、今回は30日分を20日分に」と言われ「ハイハイ」と返事をしながら、変更していないというのが時々あります。そのためにも、飲み忘れのないようにお願いします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前8時半～	胃カメラ・エコー						×
午前9～12	○	○	検査	○	○	○	
12時～ 検査終了まで	胃カメラ・エコー ・大腸ファイバー						
午後5～7	○	○	×	○	○	×	

**#7119 救急安心センターおおさか**  
(救急医療相談窓口) 24時間365日体制。一刻を争う場合は迷わず119番へ。

- ・毎月初回の受診時には、必ず「保険証」や「医療証」をご持参下さい。
- ・他院で処方を受けておられる場合は、お薬手帳などをご持参ください。
- ・健診結果などをお持ちになった場合は、診察前に受付へお出しください。

当院では、デビットカード(キャッシュカード)・クレジットカードをご利用頂けます。  
(現在のところ、電子マネーはご利用になれません)

## インフルエンザの予防接種を行っています

年齢	接種量	接種回数	接種間隔
6か月以上 3歳未満 (6か月未満は対象外)	0.25 ml	2回	2～4週 (4週を推奨)
3～12歳	0.5 ml		
13歳以上	0.5 ml	1～2回	1～4週 (同上)

**65歳以上に対する八尾市の助成は来年1月31日（木）までです。**（期間外および2回目は65歳未満の方と同料金です）

ワクチンの有効期間は2週間後から約5か月間です。**11月末までの接種をお勧めしています。**

**かかりつけの患者さんが、定期の予約診察時にお受けになる場合は、予防接種の予約は不要です。**それ以外の場合は、必ず予約をお願いします。

**※かかりつけの患者さんとは、慢性疾患で、期間内**

**に4か月以上受診された方、および慢性疾患以外で、6か月以上受診された方**です。

（最近、かかりつけになられた患者さんは、受診月数には配慮します。）

※慢性疾患とは、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、慢性肝疾患、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎などの難病、ガンなどで「指導管理料」などを保険で算定している患者さんが対象です。

**接種料金**（下表で下線を引いている部分は、今回変更した部分です。）

		八尾市民の方		八尾市民以外の方 (負担免除の方は、手続きをご確認下さい。)
	生活保護の方 市民税非課税の方 公害認定患者さん	左記以外の方		
65歳以上	無料	<b>1000円</b> 60～64歳で、身体障害者手帳（心臓・腎臓・呼吸器・免疫不全で）1級の方も1000円		<b>かかりつけの患者さんは、1000円。</b> それ以外の方は、下記2、3と同じです。
65歳未満		1. <b>かかりつけの患者さんは、2000円（税込、以下同様）</b> <b>※かかりつけの、メルマガ読者は、1800円</b> （対象期間は、昨年10月1日～ <u>今回の接種日</u> です）  2. <b>下記の方は、2500円（メルマガ読者は、2300円）</b> <b>・特定健診・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・内視鏡検査・超音波検査を受けた方</b> （対象期間は、昨年10月1日～ <u>今回の接種日</u> です） <b>・昨シーズン、インフルエンザの予防接種を当院で受けた方</b> <b>・過去に肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、麻しん・風しんワクチンを当院で受けた方</b>  3. それ以外の方は、3000円（メルマガ読者は、2800円）		

八尾市の減免対象の方は、証明書が必要で、市役所あるいは保健センターでの手続きが必要です。お問い合わせは、八尾市保健センター 電話993-8600へ。

肺炎球菌ワクチンとの、同日接種が可能です。（肺炎球菌ワクチンは予約が必要です）

メルマガ読者の方は、メルマガを印刷してお持ち頂くか、携帯画面で表示してお見せ下さい。Facebookで「いいね！」をおして下さった方も、メルマガ読者と同様に割引します。

## 学会について

10月10日(水)と13(土)は、学会参加のために休診させて頂きました。「休診にしてまで行かないといけない学会とは何？」というご質問がありましたので、ご説明します。

日本では、医師免許があれば、ほとんどの医療行為を行うことができますが、専門的な知識や技術を習得するために、各分野に学会があり、それぞれ認定医、専門医、指導医などの資格をつくっています。

専門医だからいい医者なのか？と聞かれると返事に困ってしまいますが、持っていないよりはましかなと思います。(専門医だと、収入が増えるということは、通常ありません。)

私は、認定医証を待合室に掲示している分で、

- ・日本消化器病学会認定 **消化器病専門医**
  - ・日本消化器内視鏡学会認定 **消化器内視鏡専門医**
  - ・日本内科学会認定 **認定内科医**
- および、日本医師会認定 **産業医**

の資格を持っています。その他、超音波医学会、腹部救急医学会、大腸検査学会、医療情報学会の会員になっています。

専門医・認定医の資格を取る時は、学会によりますが、試験や研修、実績(学会発表、論文等)などの条件があります。資格は永久に有効ではなく、私が持っている資格は、すべて **5年毎に更新が必要**です。

更新のためには、学会参加や講習会の受講が必要なので、今回のように、休みを取ってでも、参加をしないと行けないのです。



# JDDW 2012

KOBE 第20回日本消化器関連学会週間

No.115861

所属: **菊池内科**

氏名: **菊池 博**

---

### 参加証明書

日本消化器関連学会週間に参加されたことを証明致します。

**2012年10月10日・11日・12日・13日**

JDDW 2012 運営委員会 

第54回	日本消化器病学会大会	会長	鈴木 一幸
第84回	日本消化器内視鏡学会総会	会長	高橋 信一
第16回	日本肝臓学会大会	会長	佐田 通夫
第10回	日本消化器外科学会大会	会長	山口 明夫
第50回	日本消化器がん検診学会大会	会長	田中 幸子
第43回	日本消化吸収学会総会	会長	白鳥 敬子

今回の学会は、**JDDW(日本消化器関連学会週間)**とあって、消化器病学会、消化器内視鏡学会を含めて6つの学会が同時に、神戸で開催されました。

この会の利点は、入会していない学会も含めて、複数の学会に参加できることです。

たとえば、「胃がん検診」について、消化器病学会、消化器内視鏡学会、がん検診学会が合同で話し合ったりしました。

京大の山中伸弥教授の講演会も予定されていましたが、ノーベル賞を受賞されて多忙とのことで、代理の先生の講演会に変更になったのは残念でした。

春(5月頃)と秋(10月頃)が、いわゆる学会シーズンです。今後も、この時期に学会に伴う休診をさせて頂くことが多いと思いますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

## 生活習慣病 (2) 尿検査について



糖尿病で通院中の患者さんから、毎月尿検査をして、何を調べるのかというご質問がありましたので、あらためて尿検査についてお話しします。

当院では、左のような試験紙で検査をしています。ごく少量の尿で検査はできますので、できるだけ出してください。

10項目の検査ができますが、全ての項目の色の変化を見るのは大変なので、当院では下のような器械で測定しています。

重要なのは下の結果用紙で、1番目の**GLU** (ブドウ糖) と7番目の**PRO** (タンパク) です。

(特定健診では、この2項目のみの試験紙を使います。)



糖尿病、高血圧症、慢性腎炎等が原因で起こる腎機能障害を総称して、**CKD (慢性腎臓病)**と呼びます。

糖尿病が原因の場合、とくに**糖尿病性腎症**といいますが、早期発見がとても重要です。というのは、現在、慢性腎不全で**血液透析**を始める方の半数以上は、糖尿病が原因だからです。



糖尿病の患者さんの場合、毎回、血液検査と尿検査で腎機能を調べますが、**早期の糖尿病性腎症の段階では、通常の検査で異常がでることは、非常にまれです。**

そのために、尿のタンパクのなかの**アルブミン**という成分を調べます。

健康保険では、3か月に一度検査ができますが、当院では、大部分の患者さんでは、6か月に一度検査をしています (患者さんによって3か月～一年に一回)。高血圧症の方にも測定したいのですが、糖尿病の方しか、保険がききません。

2年前からは、院内の器械 (左の写真) で測定できるようになり、診察当日に結果をお知らせしています。

(4 ページから続く)

右は、尿中アルブミンの検査結果を、糖尿病手帳に記載するためのスタンプです。

正常値は、30未満、30以上300未満は微量、300以上は糖尿病性腎症がつよく疑われます。



**CKDの重症度区分**を、下の表に示します。

糸球体濾過値推算値 (eGFR: 血液検査の**クレアチニン**、**年齢**、**性別**から算出) によってG1からG5の6段階、尿アルブミン (糖尿病の場合) あるいは尿蛋白 (糖尿病以外の場合) の量によってA1からA3の3段階に区分されます。表の上から下へ、また左から右へ、緑→黄→橙→赤と色が変わっていきませんが、この順に、心臓・血管系の病気で命を落とす危険性が高まります。

原疾患	蛋白尿区分		A 1	A 2	A 3
糖尿病	<b>尿アルブミン</b> (mg/日)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
	尿アルブミン/クレアチニン比 (mg/gCr)		<b>30未満</b>	<b>30~299</b>	<b>300以上</b>
高血圧 腎炎 その他	<b>尿蛋白</b> (g/日)		正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
	尿蛋白/クレアチニン比 (g/gCr)		<b>0.15未満</b>	<b>0.15~0.49</b>	<b>0.50以上</b>
GFR 区分	<b>90以上</b>	G1	正常または高値		
	<b>60~89</b>	G2	正常または軽度低下		
	<b>45~59</b>	G3a	軽度~中等度低下		
	<b>30~44</b>	G3b	中等度~高度低下		
	<b>15~29</b>	G4	高度低下		
	<b>15未満</b>	G5	末期腎不全		

**検査結果表の変更について**

上記に出ました、eGFR (糸球体濾過値推算値) について、お渡ししている検査結果表での表示が変更になっていますので、お知らせします。(CKD診療ガイド2012にあわせた変更) 項目名が、「糸球体濾過値推算値」から「推算GFRcreat」に変更になりました。

(旧)	糸球体濾過値推算値	55.9
	基準値 ml/min / 1.73m <sup>2</sup>	
(現)	推算GFRcreat	86.1
	基準値 ml/min / 1.73m <sup>2</sup>	60以上

creat=クレアチニンを元に計算しているという意味です。検査結果も単位も変わりません。正常値が60以上 (上記の区分で、G1およびG2) と表示されるようになりました。

参考までに、計算式は、

$$GFR = \text{クレアチニンのマイナス}1.094 \text{ 乗} \times \text{年齢のマイナス}0.287 \text{ 乗}$$

男女で正常値に違いがありますので、女性の場合、さらに  $\times 0.739$  です。  
(自分で計算しようとは思いませんよね!)

「**きょうの健康**」 <http://www.nhk.or.jp/kenko/> (テキストが市販されています)

**NHK教育テレビ** (月)～(木) 午後8:30～8:45

(再放送) 翌週 午後1:35～1:50

「**先どり きょうの健康**」 **NHK総合テレビ** (土) 午前4:15～4:30

(その週の月～木の4本の放送のうち1本が放送されます。)

土	月	火	水	木
3	5	6	7	8
<b>先どり</b>	<b>糖尿病 進歩する治療法</b>			
糖尿病	血糖 きめ細かく管理	新しい薬 注目の効果	早期にも使う インスリン	あなたにあった 食事療法
10	12	13	14	15
<b>先どり</b>	<b>大腸がん 早期発見で徹底治療</b>			
大腸がん	こんな人はぜひ検査を	負担軽い 内視鏡手術	手術で生活の質を 下げない工夫	抗がん剤で再発予防
17	19	20	21	22
<b>先どり</b>	<b>気づかず進行 肺の病気COPD</b>			<b>食で健康 食物繊維で便秘解消!</b>
COPD	その息切れ 大丈夫?	あなたに合う治療	リハビリで快適に!	
24	26	27	28	29
<b>先どり</b>	<b>体調不良がサイン! 甲状腺の病気</b>		インフルエンザ 最新情報	<b>運動で健康 たるみにサヨナラ! すっきりおなかまわり</b>
甲状腺	バセドウ病	橋本病		

### ここが聞きたい! 名医にQ

NHK教育テレビ 毎週**土曜日** 午後8:00～8:45

(再放送) 翌週**金曜日** 午後1:05～1:50

11/3・10

(アンコール) タイプ別が効く! 高血圧対策

11/17

スペシャル2012 みんなで実践! スッキリ快眠術

11/24

まとめスペシャル 下痢・便秘

### 鳥越俊太郎 医療の現場!

(日本医師会提供)

BS朝日 (BSデジタル5チャンネル) 毎週**土曜日** 午後6:00～6:30

(再放送) 翌**日曜日** 午前10:00～10:30

11/3

インフルエンザ2012 ～傾向と対策～

11/10

最新白内障治療 ～視聴者の声に答える～

11/17

下肢静脈瘤 ～足がボコボコ! つら～いむくみ～

11/24

地域医療の今 ～医師不足に負けない! 島根県の挑戦～

**がん最前線** (がんセンターボードTV) BS朝日 毎週**日曜日** 午前11:30～12:00